

平成18年1月26日  
筑波大学

## 当面の行事予定

### 大学主催

- 「第1回高校生のためのアトライター大賞授賞式」及び「アトライティング教育研究会」の開催について

・本学人間総合科学研究科芸術学専攻が主催する教育プロジェクト「芸術環境形成支援のためのアートジャーナリスト養成」は、その活動の一環として高校生を対象とした全国的なアート・エッセイ・コンテスト「高校生のためのアトライター大賞」を創設しました。このたび、全国の高校生から応募のあった171編のうち、大賞(3名)その他を表彰します。また第2部では、東京大学大学院総合文化研究科助教授・今橋映子氏の特別講演が行われます。

日時：平成18年1月28日(土) 13:00~17:00

場所：つくば国際会議場

問合せ先：人間総合科学研究科芸術学専攻

直江俊雄助教授

電話：853-2821

- 「第1回MBA育成人材像研究会」及び「MBA人材の育成に関する国際シンポジウム」の開催について

・現在、我が国では、大学改革が急速に進行しつつあり、高度の実践教育によりビジネス・リーダーやビジネス・プロフェッショナルを育成するビジネススクールが全国で開設されています。本研究会及び国際シンポジウムは、文部科学省平成17年度大学改革推進等補助金(大学改革推進事業)による法科大学院等専門職大学院形成支援プログラムとして採択された、本学、青山学院大学及び同志社大学の3大学による共同プロジェクトである「ビジネススクール教育の質保証に関するシステムづくり」構築のための研究開発事業の一環として開催されます。(記者会あて別途案内済み)

● 「第1回MBA育成人材像研究会」

日時：平成18年1月28日(土) 12:00~16:00

場所：筑波大学東京キャンパス第一会議室(東京都文京区大塚3-29-1)

● 「MBA人材の育成に関する国際シンポジウム」

日時：平成18年年3月4日(土) 13:00~16:30

場所：文京シビックセンター26階・スカイホール(文京区春日1-16-21)

問合せ先：ビジネス科学等支援室

電話：03-3942-6813

○ 「つくばマイスターフォーラム」の開催について

- ・ 4月から開講する市民活動リーダー育成プログラム「マイスター育成講座」の紹介を目的として開催されます。「マイスター育成講座」は、平成17年度文部科学省予算「公募型教育研究経費」の「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）」として採択された「新しい課題対応型体験学習プログラムの開発」として実施されているものです。当日は、町田洋次氏（エコノミスト）他の講演や、大学農産物の販売等が行われます。

日時：平成18年2月18日（土）10:00～17:00

場所：つくば国際会議場（エポカルつくば）1階大会議室

問合せ先：現代GP運営委員会事務局

電話：853-6675

○ 日本におけるドイツ年 2005/2006 記念国際シンポジウム「少子高齢社会と家族のための総合政策」の開催について

- ・ このシンポジウムは、少子高齢社会において重要な役割を担う家族を支えるための総合政策が必要であるとの認識のもとに、日本におけるドイツ年 2005/2006 の記念行事として開催されます。また、本学においては専門家会議が開催されます。

● 専門家会議（第1日目）

日時：平成18年3月9日（木）13:30～17:30

場所：筑波大学大学会館国際会議室

● 専門家会議（第2日目）

日時：平成18年3月10日（金）9:30～17:30

場所：筑波大学大学会館国際会議室

● 国際シンポジウム

日時：平成18年3月11日（土）13:30～17:00

場所：よみうりホール（読売会館7階：JR有楽町駅下車）

問合せ先：人文社会科学研究科社会科学専攻

「国際シンポジウム係」

電話：853-4061

○ 平成18年度「筑波大学入学者選抜（前期日程）」

- ・ 前期日程を次のとおり実施します。

実施日：平成18年2月25日（土）・26日（日）

（参考）出願期間は1月30日（月）～2月7日（火），

第1段階選抜発表は2月14日（火）です。

○ 入試関係記者会見等（別途案内予定）

- ・臨時記者会見（前期日程試験について）

実施日：平成18年2月25日（土）9:25～9:40

実施場所：経営協議会室（本部棟8階）

- ・臨時記者会見（前期日程の合格者について）

実施日：平成18年3月8日（水）10:20～

実施場所：経営協議会室（本部棟8階）

- ・資料提供（後期日程の合格者について）

平成18年3月20日（月）10:00

問合せ先：学務部 入試課

電話：853-2218



平成 17 年 12 月 15 日

第 1 回高校生のためのアートライター大賞選考委員会  
「芸術環境形成支援のためのアートジャーナリスト養成」教育プロジェクト  
筑波大学大学院人間総合科学研究科芸術学専攻

## 第 1 回高校生のためのアートライター大賞選考結果 ならびに授賞式・アートライティング教育研究会のご案内

アートに関する小論文のコンテスト「第 1 回高校生のためのアートライター大賞」には、全国から 171 編の応募があり、厳正な選考の結果、別紙のように入賞者を決定いたしました。

明年 1 月 28 日には、別紙案内のように、つくば国際会議場にて、授賞式ならびにアートライティングの教育に関する研究会を開催いたします。

アートの教育に関して、新しい角度からアプローチをしていこうとする試みとして、高等学校のみでなく小学校・中学校から大学までの幅広い視点からの教育実践が提案されます。多くの方々のご参加を賜り、今後の発展について一緒に考えていただければ幸いに存じます。

参加希望がございましたら、同封の申込書でご連絡ください。  
どうぞよろしく願いいたします。

問い合わせ：〒305-8574 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学大学院人間総合科学研究科芸術学専攻 直江俊雄 Tel/Fax 029-853-2821 (研究室)

[naoe@geijutsu.tsukuba.ac.jp](mailto:naoe@geijutsu.tsukuba.ac.jp)

<http://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/~naoe/>



平成17年度

# つくばマイスターフォーラム

市民×学生÷大学＝新しい学びの共同体

平成18年2月18日(土)午前10時～午後5時

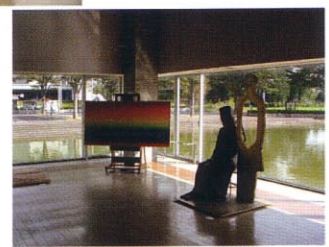
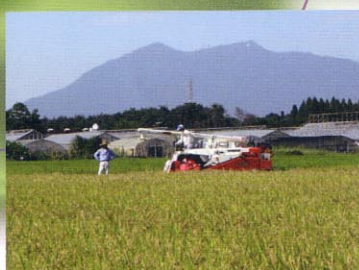
つくば国際会議場(エポカルつくば)

1階大会議室101・102



筑波大学はつくば市と連携して平成18年4月より「マイスター育成講座」を開講します。この講座には、食、環境、芸術の各分野で開設されるコースがあり、実習、講義および課題別学習を通して豊かな知識と技能を身につけた市民活動のリーダー育成を目指します。筑波大学の学生は運営スタッフとして参加します。学生には市民との触れ合いを通して、豊かな感性と確かな社会貢献マインドを持つことを期待しています。「つくばマイスターフォーラム」では、講演と展示企画等で「マイスター育成講座」の内容や趣旨を広く市民の皆さんに知っていただくとともに、本講座に関係する講師・市民団体・学生等との意見交換をおこない、市民の皆さんの意見を本講座に反映させます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

環境  
食  
芸術  
美



講演会 13:00 - 15:30

講演 1

町田洋次氏  
(フリーエコノミスト)

1941年生まれ。慶應義塾大学経済学部卒。長銀総合研究所取締役産業調査部長、(社)ソフト化経済センター理事長等を経て、現在はフリーエコノミスト。わが国で初めて社会起業家コンセプトを提唱し、その育成に尽力。専門は産業・企業調査。著書に「社会起業家」(PHP新書)、「市場の法則」(成美文庫)。

## 「これからの「ひと」作り・「まち」作り・市民と大学のコラボレーション」

講演 2

野口玲一氏  
(文化庁芸術文化調査官)

1964年生まれ。東京芸術大学卒。東京都現代美術館、東京芸術大学美術館を経て、文化庁芸術文化調査官。文化庁ではメディア芸術祭など現代美術の企画を担当。

## 「芸術文化とアート・サポート」

講座紹介 15:30 - 16:00

## 「マイスター育成講座」の紹介

展示・イベント 10:00 - 17:00

芸術展、大学農産物販売、大学グッズ販売、手作りアクセサリー販売、安全安心のITシステム体験、微生物検査キット体験、食品成分分析体験、筑波大学・NPO等市民団体によるポスター展示など



筑波大学  
University of Tsukuba

- 主催 ● 筑波大学現代GP運営委員会 (生物資源学類、農林技術センター、芸術専門学群)
- 後援 ● つくば市、つくば市教育委員会
- 協力 ● NPOつくばアーバンガーデニング、NPO栄塚の歴史と自然の会、アート・コアTSUKUBA、ミュージアムショップ、つくば市ブルーベリー生産者協議会、紫峰会 他(順不同)







2005/2006  
Deutschland in Japan  
日本におけるドイツ

# 少子高齢社会と 家族のための総合政策

Familienpolitik in der alternden Gesellschaft

日本におけるドイツ年2005/2006記念国際シンポジウム

日時：2006年3月 9日(木)13:30～17:30 (受付開始:13:00～)

2006年3月10日(金) 9:30～17:30 (受付開始: 9:00～)

場所：筑波大学・大学会館国際会議室

主催：筑波大学、ベルリン日独センター、ドイツ・日本研究所

マックスプランク国際社会保障法研究所、フリードリヒ・エーベルト財団

後援：ドイツ大使館、内閣府、厚生労働省、茨城県

日本ドイツ学会、日本家族<社会と法>学会、日本法政学会、日本成年後見法学会

協力：筑波大学比較市民社会・国家・文化特別プロジェクト、全日空

**プログラム** 総合司会：岡上雅美助教授 (筑波大学人文社会科学研究所) ※日独同時通訳付き

第1日目：2006年3月9日木曜日

■家族と家族政策の歴史的展開

矩岡とし子教授 (筑波大学人文社会科学研究所)

増田雅暢氏 (内閣府参事官、少子・高齢化対策第一担当)

マルテ・リスタウ・ヴィンクラー氏 (連邦家族・高齢者・女性・青少年省家族政策部長)

討論

座長：クラインシュミット教授 (筑波大学人文社会科学研究所)

■人口構造および経済的基盤としての家族

阿藤誠教授 (甲斐田大学特任教授、国立社会保障・人口問題研究所前所長)

ハラルト・コンラット博士 (ドイツ・日本研究所前所長)

討論

座長：新井誠教授 (筑波大学ビジネス科学研究科)

第2日目：2006年3月10日金曜日

■家族の社会的意義と社会的認知

下夷美幸助教授 (法政大学社会学部)

ベルント・フォン・マイテル教授 (マックスプランク国際社会保障法研究所前所長)

討論

座長：田中洋子助教授 (筑波大学人文社会科学研究所)

■家族のための経済的・社会的支援

江口隆裕教授 (筑波大学ビジネス科学研究科)

エーファ・ホーネルライン博士 (マックスプランク国際社会保障法研究所研究員)

討論

座長：田宮菜奈子教授 (筑波大学人間総合科学研究科)

■欧州諸国における家族政策

ハンス・ベルトラム教授 (フンボルト大学、連邦議会第7家族報告書委員長)

討論

座長：白波瀬佐和子助教授 (筑波大学システム情報工学研究科)

■報告者と参加者による全体討論

座長：本澤巳代子教授 (筑波大学人文社会科学研究所)

問い合わせ先

筑波大学人文社会科学研究所社会科学専攻「国際シンポジウム」係

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1

Fax : 029-853-6611 Tel : 029-853-4097





## 専門家会議プログラム

総合司会：岡上雅美（筑波大学人文社会科学研究科社会科学専攻助教授）

同時通訳：相澤啓一（筑波大学人文社会科学研究科文芸・言語専攻助教授）、桑折千恵子、石川桂子

### 第1日目：2006年3月9日木曜日

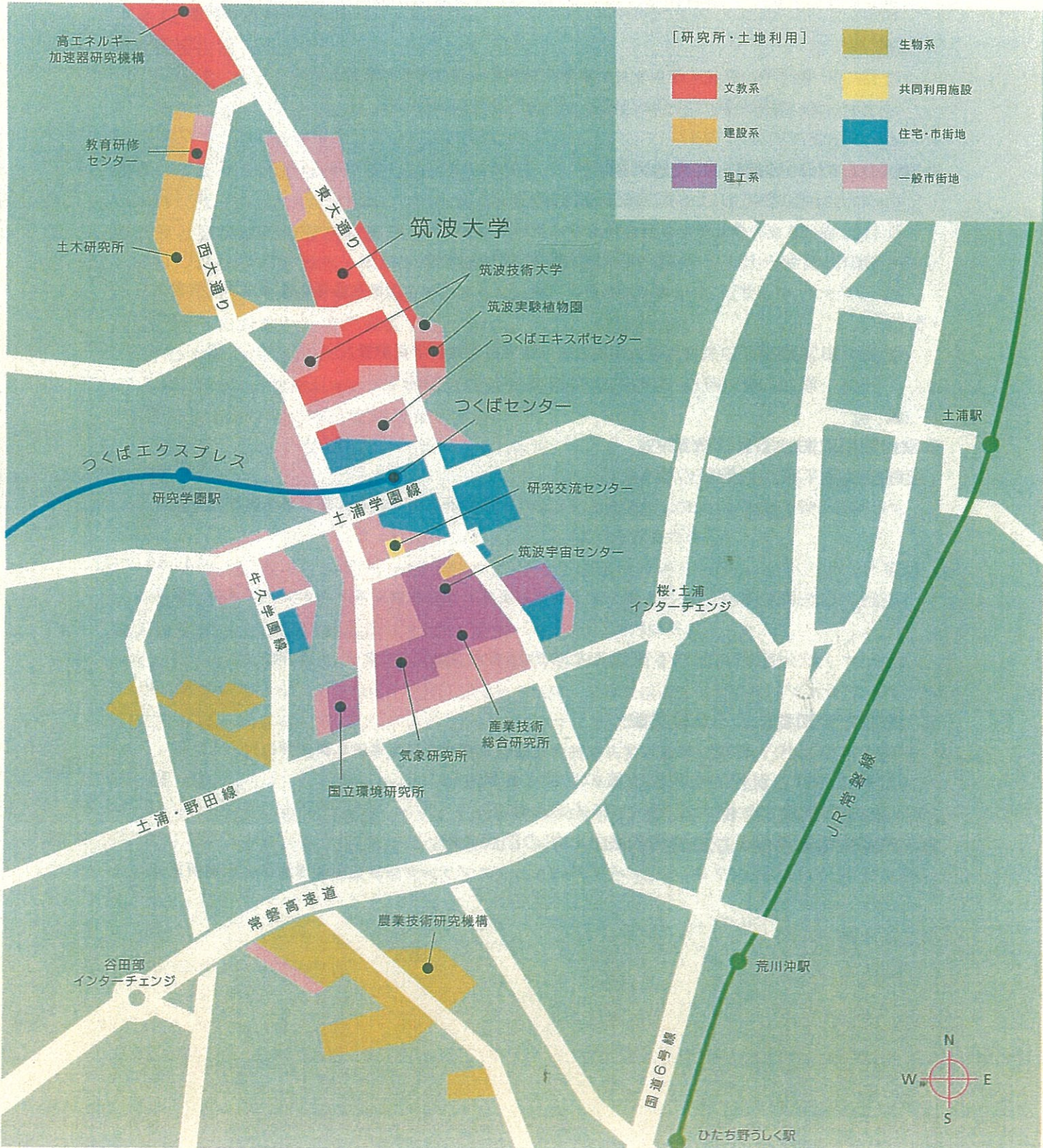
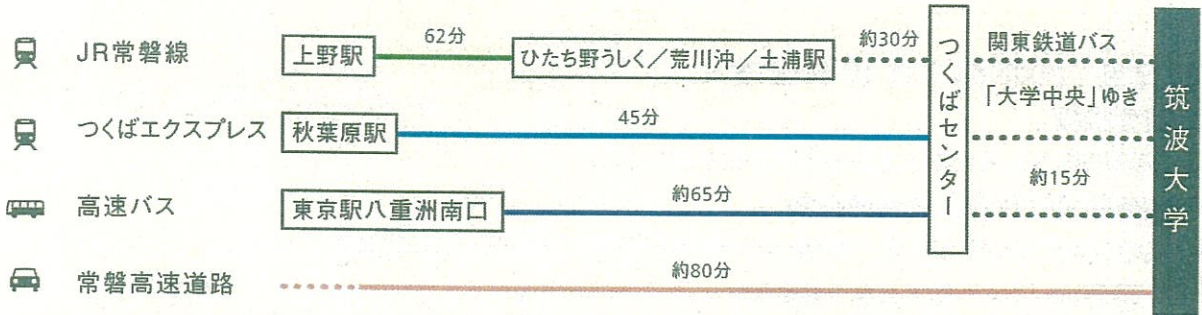
- 主催者挨拶 13:30  
工藤典雄（筑波大学国際交流担当副学長）  
上田浩二（ベルリン日独センター副事務総長、筑波大学人文社会科学研究科現代文化・公共政策専攻教授）
- プロジェクトおよび専門家会議の趣旨説明 13:40  
本澤巳代子（人文社会科学研究科社会科学専攻教授）
- 家族と家族政策の歴史的展開
- ・日独における家族概念・家族形態の歴史的展開 13:50  
姫岡とし子（筑波大学人文社会科学研究科歴史・人類学専攻教授）
  - ・国家政策の対象としての家族（基本理念、哲学、歴史的展開）
  - a) 日本側の考え方 14:20  
増田雅暢（内閣府参事官、少子・高齢化対策第一担当）
  - b) ドイツ側の考え方—家族政策の意義 14:40  
マルテ・リスタウ=ヴィンクラー（連邦家族・高齢者・女性・青少年省家族政策部長）
  - ・討論 15:00  
座長：ハラルド・クラインシュミット（筑波大学人文社会科学研究科国際政治経済学専攻長）  
テーマ：家族・家族政策とは？日本には、なぜ家族政策の概念がないのか？  
コーヒーブレイク 15:40
- 人口構造および経済的基盤としての家族
- ・社会における家族構造の展開～社会の人口構造上の基盤として 16:00  
阿藤誠教授（早稲田大学特任教授、国立社会保障・人口問題研究所前所長）
  - ・家族の経済的意義（労働力不足の問題やそのマイナス効果） 16:30  
ハラルト・コンラット博士（ドイツ-日本研究所副所長）
  - ・討論 17:00  
座長：新井誠教授（筑波大学ビジネス科学研究科法曹専攻長）  
テーマ：家族政策の必要性、家族政策の目標（人口政策ではない）
- 第1日目終了 17:30
- 筑波大学主催レセプション 18:00

## 第2日目：2006年3月10日金曜日

- 主催者挨拶 9:30  
波多野澄雄（筑波大学人文社会科学研究科長）
- 家族の社会的意義と社会的認知
- ・家族の社会的意義（育児・看護・介護などの担い手としての家族） 9:35  
下夷美幸（法政大学社会学部助教授）
  - ・家族的労働と稼得労働（家族的労働の社会的認知） 10:05  
ベルント・バロン・フォン・マイデル（マックスプランク国際社会保障法研究前所長）
  - ・討論 10:35  
座長：田中洋子（筑波大学人文社会科学研究科社会科学専攻助教授）  
テーマ：家族的労働の社会的意義と社会的認知のあり方
- コーヒーブレイク 11:05
- 家族のための経済的・社会的支援
- ・日本の社会保障法における家族関係給付の現状 11:20  
江口隆裕（筑波大学ビジネス科学研究科企業科学専攻長）
  - ・ドイツの保育サービス・両親休暇等の育児支援の現状 11:50  
エーファ・マリア・ホーネルライン（マックスプランク国際社会保障法研究所研究員）
  - ・討論 12:20  
座長：田宮菜奈子（筑波大学人間総合科学研究科看護科学系教授）  
テーマ：家族のための経済的・社会的支援とその効果
- 昼食 12:50
- 欧州諸国における家族政策
- ・連邦議会第7家族報告書の概要 14:00  
ハンス・ベルトラム（フンボルト大学マイクロ社会学研究所長、連邦議会第7家族報告書委員会委員長）
  - ・討論 14:30  
座長：白波瀬佐和子（筑波大学システム情報工学研究科社会システム・マネジメント専攻助教授）  
テーマ：欧州諸国における家族のための総合政策とジェンダー政策
- コーヒーブレイク 15:00
- 報告者と参加者による全体討論
- 座長：本澤巳代子教授（筑波大学人文社会科学研究科社会科学専攻法律分野）
  - ・21世紀における現代的な家族政策の目標と課題 15:20
  - ・現代的な家族政策に関するテーゼの提案と修正 16:50
- 専門家会議総括および主催者代表としての閉会の辞 17:20  
ベルント・バロン・フォン・マイデル（マックスプランク国際社会保障法研究所前所長）
- 第2日目終了 17:30



# 大学へのアクセス







2005 / 2006  
Deutschland in Japan  
日本におけるドイツ

# 少子高齢社会と家族のための総合政策

Familienpolitik in der alternden Gesellschaft 日本におけるドイツ年2005/2006  
記念国際シンポジウム

**日時：**2006年3月11日(土)13:30～17:00 (受付開始: 12:30)

**場所：**よみうりホール(読売会館7階)

\*JR-有楽町駅下車・東京国際フォーラム口すぐ

- 主催：**筑波大学、ベルリン日独センター、ドイツ-日本研究所  
マックスプランク国際社会保障法研究所、フリードリヒ・エーベルト財団
- 後援：**ドイツ大使館、内閣府、厚生労働省、茨城県、読売新聞社  
日本ドイツ学会、日本社会保障法学会、日本家族<社会と法>学会  
日本法政学会、日本成年後見法学会
- 協力：**筑波大学比較市民社会・国家・文化特別プロジェクト、全日空

**趣旨：**このシンポジウムは、日本におけるドイツ年2005/2006の記念行事として、日独両国の研究機関等が協力して開催するものである。  
このシンポジウムの目的は、少子高齢社会において重要な役割を担う家族を支えるための総合政策が必要であるとの認識のもと、戦後一足早く経済復興と少子高齢化を経験してきたドイツの家族政策の理念・現状・課題を学ぶとともに、わが国の少子化対策との比較検討を行うこと、日独の研究者・政策担当者による21世紀の「家族のための総合政策」に関する提言を行うことである。



# ■ プログラム

- 13:30 **主催者開会の挨拶**  
岩崎洋一 (筑波大学学長)  
フロリアン・クルマス (ドイツ-日本研究所所長)
- 13:40 **主催者としてのシンポジウム趣旨説明**  
ハラルト・コンラット (ドイツ-日本研究所副所長)
- 13:50 **日本とドイツにおける家族概念・構造の歴史的展開**  
姫岡とし子 (筑波大学人文社会科学研究科教授)
- 14:10 **日本の家族支援に関する諸政策の現状と課題**  
増田雅暢 (内閣府参事官、少子・高齢化対策第一担当)
- 14:30 **休憩**
- 14:45 **ドイツにおける家族のための総合政策の現状と課題**  
マルテ・リスタウ-ヴィンクラー  
(連邦家族・高齢者・女性・青少年省家族政策部長)
- 15:05 **欧州諸国における家族のための総合政策の比較検討**  
ハンス・ベルトラム教授  
(フンボルト大学ミクロ社会学研究所所長、連邦議会第7家族報告書委員会委員長)

## 総合司会

阿部陽子 (NHKアナウンス室、筑波大学88年卒)

# ■ 報告者等紹介



岩崎 洋一

Prof. Dr. Iwasaki Yoichi

筑波大学学長

1969年東京大学にて理学博士。1984年から筑波大学教授。1998年から2002年まで筑波大学副学長、2004年から現職。1994年仁科記念賞受賞。文部科学省科学技術・学術審議会委員、同政策評価に関する有識者会議委員、同独立行政法人評価委員会委員。



フロリアン・クルマス

Prof. Dr. Florian Coulmas

ドイツ-日本研究所所長

1975年ベルリン自由大学修士修了、1977年ビーレフェルト大学にて博士号、デュッセルドルフ大学にて大学教授資格を取得。2004年から現職。



ハラルト・コンラット

Dr. Harald Conrad

ドイツ-日本研究所副所長

1991年ケルン大学経済学部入学、1994年一橋大学商学部、1996年慶応義塾大学大学院商学研究科に留学。2000年ケルン大学にて経済学博士。



姫岡 とし子

Prof. Dr. Himeoka Toshiko

筑波大学人文社会科学研究科教授

フランクフルト大学歴史学部修士課程修了、奈良女子大学大学院人間科学研究科比較文化学専攻修了(文学博士)。2005年から現職。



増田 雅暢

Masuda Masanobu

内閣府参事官(少子・高齢化対策第一担当)

1976年東京大学教養学部卒業、1979年から1980年まで米国・シラキュース大学大学院留学(政治学)、1981年厚生省に入省。2004年から現職。



マルテ・リスタウ-ヴィンクラー

Malte Ristau-Winkler

連邦家族・高齢者・女性・青少年省家族政策部長  
歴史学および社会学を学び2種類の国家試験に合格。現在は連邦家族・高齢者・女性・青少年省において、家族政策・社会福祉事業・市民参加部の部長。



15:25 **21世紀の「家族のための総合政策」  
の目標と課題**

ベルント・バロン・フォン・マイデル  
(マックスプランク国際社会保障法研究所前所長)

15:45 **休憩**

16:00 **全体討論**

コーディネータ：江口隆裕  
(筑波大学ビジネス科学研究科企業科学専攻長)  
討論者：ベルント・バロン・フォン・マイデル  
ハンス・ベルトラム  
マルテ・リスタウ-ヴィンクラー  
姫岡とし子  
増田雅暢  
ハラルト・コンラット  
エーファ・ホーネルライン

16:40 **21世紀の「家族のための総合政策」  
に関する提言**

本澤巳代子 (筑波大学人文社会科学部研究科教授)

16:45 **シンポジウム総括**

ベルント・バロン・フォン・マイデル  
(マックスプランク国際社会保障法研究所前所長)

16:55 **主催者閉会の挨拶**

上田浩二 (ベルリン日独センター副事務総長)

17:00 **終了**

**同時通訳者**

相澤啓一 (筑波大学人文社会科学部研究科助教授、NHK  
教育テレビ・ドイツ語講座講師)  
桑折千恵子、石川桂子



ベルント・バロン・フォン・マイデル  
Prof. Dr. Bernd Baron von Maydell  
マックスプランク国際社会保障法研究所  
前所長  
1960年マールブルク大学にて法学博士、  
1971年ボン大学にて大学教授資格取得。  
1981年からボン大学労働法・社会保障法  
研究所所長、1992年から2002年までマッ  
クスプランク国際社会保障法研究所所長。  
1998年にドイツ連邦共和国連邦功労十字  
賞・一等、2002年勲三等瑞宝賞。



江口 隆裕  
Prof. Eguchi Takahiro  
筑波大学ビジネス科学研究科企業科学専攻長  
1977年北海道大学法学部卒業、厚生省に入省。  
2002年から筑波大学ビジネス科学研究科教授、  
2004年から現職。



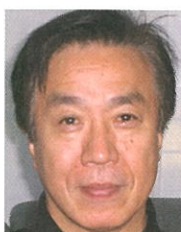
ハンス・ベルトラム  
Prof. Dr. Hans Bertram  
フンボルト大学ミクロ社会学研究所所長  
社会学・心理学・法学を学び、1976年デュッセル  
ドルフ大学にて哲学博士、1980年ハイデルベル  
ク大学にて大学教授資格取得。1992年から現職。



エーファ・マリア・ホーネルライン  
Dr. Eva Maria Hohnerlein  
マックスプランク国際社会保障法研究所研究員  
ザールラント大学にて法学博士の学位取得。1986  
年から現職。



本澤 巳代子  
Prof. Dr. Motozawa Miyoko  
筑波大学人文社会科学部研究科教授  
1983年関西大学大学院法学研究科単位取得満期  
退学、1999年関西大学にて法学博士、2001年か  
ら筑波大学社会科学系教授、2004年から現職。

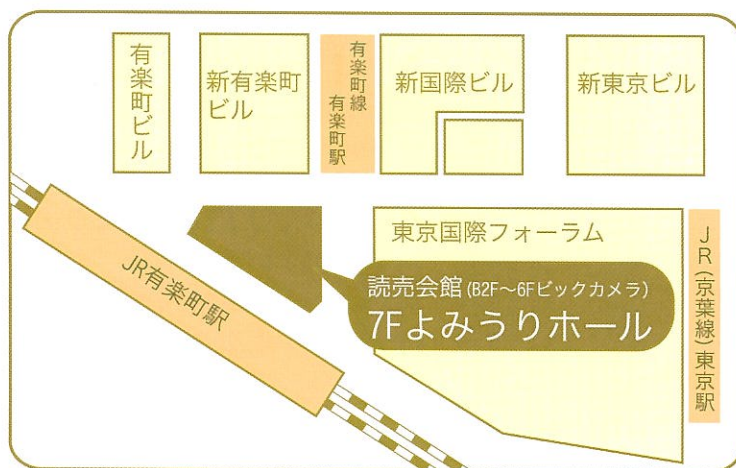


上田 浩二  
Prof. Ueda Koji  
ベルリン日独センター副事務総長  
1970年東京大学教養学部卒、東京大学人文系大学  
院比較文学・比較文化専攻博士課程中退。1993年  
から筑波大学現代語・現代文化学系教授。2004年  
から現職。





## 会場案内



## 申し込み・問い合わせ先

筑波大学人文社会科学研究所社会科学専攻「国際シンポジウム」係

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1

FAX : 029-853-6611 TEL : 029-853-4097

E-mail : [jd-kazoku@social.tsukuba.ac.jp](mailto:jd-kazoku@social.tsukuba.ac.jp) Web : <http://www.social.tsukuba.ac.jp/jd-kazoku/>

